

松本市は、2021年に策定した総合計画に「DX・デジタル化」を重点戦略として位置付け、地域が持つポテンシャル（三ガク都）に最先端のテクノロジーが融合した「デジタルシティ松本」の実現に取り組むこととした。

これを推進する具体的な方向性として、2022年2月に「DX・デジタル化推進に関する骨太の方針」を策定し、5つの「目指す姿」を掲げている。

快：デジタルでタイムリーに結ばれた便利で快適なまち

豊：デジタルで大都市並みに仕事ができ豊かに暮らせるまち

育：デジタルで好奇心をくすぐり未来を育むまち

安：デジタルで人と情報がまもられる心安らぐまち

挑：デジタルのフィールドで新しい自分に挑戦できるまち

この「目指す姿」の実現に向けて、デジタルで地域の新たな価値を生み出せる人を育む「学び」の場を提供するとともに、地元企業のデジタル化を進め、デジタルの世界で活躍を希望する若者・女性の「仕事」の場を広げること、そして、松本市をフィールドに事業意欲と実行力を持つメンバーが連携して市民が恩恵を実感できるデジタルサービスを生み出すことで、松本市が抱える地域課題の解決と新たな価値を生み出し続けるイノベーション・エコシステムを形成する。

これらの推進組織として、産学官が集結し、「デジタルシティ松本のシンカ」の共創を目指す「デジタルシティ松本推進機構」を設立する。

2023年4月12日

### 発起人

セイコーエプソン株式会社	執行役員	吉野 泰徳
ソフトバンク株式会社	公共事業推進本部長	柏木 陸照
株式会社テレビ松本ケーブルビジョン	代表取締役会長	佐藤 浩市
日本電気株式会社	長野支店長	寺島 重則
東日本電信電話株式会社	長野支店長	茂谷 浩子
株式会社日立システムズ	関東甲信越支社長	高森 浩信
Search Space株式会社	代表取締役CEO	後藤 良輔
松本市長		臥雲 義尚